

千葉県 資源・エネルギー安全保障・GX分野（資源・エネルギー安全保障を核とするGX産業領域）における地域産業クラスター計画の概要

1. 産業領域

資源・エネルギー安全保障を核とするGX産業

＜特定理由＞

- ・日本最大規模の素材・エネルギー産業の集積地のカーボンニュートラルコンビナートへの転換は、産業競争力の強化に加え、GX関連の革新的技術の社会実装が期待できる。

2. 対象エリア

京葉臨海コンビナートの区域（千葉市南部から富津市北部にかけての臨海部）



3. 目指す姿（目標）

（1）現状の整理

- 京葉臨海コンビナートの素材・エネルギー産業は日本経済を支える産業集積地。一方で、産業部門由来のCO2排出が課題。
- 世界的に環境問題への関心が高まる中、京葉臨海コンビナートのカーボンニュートラルコンビナートへの転換をはじめとするGXの推進と国際競争力強化の両立は、我が国の産業競争力に直結する課題。

（2）目指すべき目標（R8～12）

- 官民設備投資額：9,928億円（R12:1,986億円）
- 付加価値増加額：2,591億円（R12:1,036億円）
- 雇用創出数：3,474人（R12:868人）
- 産業人材育成数：1,043人（R12:261人）

※官民設備投資額は千葉県調べ。

付加価値増加額と雇用創出数、産業人材育成数は、官民設備投資額を基に千葉県において算定。

4. 勝ち筋

（1）基本戦略

- スタートアップをはじめとする県内外のGX関連の革新的技術を保有する企業とコンビナート立地企業との連携によるGX産業の創出。
- 資金調達の後押しや国家戦略特区の活用等による投資・制度環境の整備。
- 水素・アンモニア等の利活用やCCS・CCU等の共同インフラの整備。
- 企業、関係機関等との連携によるプロジェクト推進体制の構築。

（2）目指すべき姿

- GX関連の投資が進み、新たなGX事業が次々と生まれ、コンビナート全体の産業が高度化し、経済成長とカーボンニュートラルが両立。

5. 政策手段

（1）取組に向けた課題

- 事業用地の不足
- エネルギー転換や新技術の導入、製造プロセスの抜本的見直しなど大規模投資が不可欠
- コスト増大による価格競争力低下や大規模設備投資の投資回収期間の長期化に対する懸念等

（2）講じるべき政策パッケージ

- 用地・跡地活用支援、GX設備投資支援、共同インフラ整備支援
- 需要創出・価格差支援
- 規制・手続の合理化・迅速化
- 金融支援・投資促進、人材育成・リスキリング支援
- 伴走支援・推進体制の強化
- 道路整備の推進